

第2510地区 第11グループ



2011~2012

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2011~12年度
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために



Reach Within to Embrace Humanity

2011~12年度
国際ロータリー会長

カルヤン・バネルジー

Kalyan Banerjee

藤田正男 会長 テーマ ———— 心から、心へ、すべてに感謝し、喜びを分かち合おう ————



3月14日 会長エレクトセミナー報告 鶴喰 理三 会長エレクト

《第2329回例会》 第34号 3月21日(水)

本日のプログラム

早朝例会

於 函館国際ホテル 午前7時~

★会長 藤田正男

★幹事 小河博保

例会場：函館国際ホテル
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30

〒040-0064 函館市大手町5-10
事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F

TEL23-5151
TEL23-3870

を手に入れることなく、自分の努力によってより良い、より平和な世界が実現するのを見届けることにあります。

皆さま、本年度、「奉仕を通じて平和を」を、ロータリー活動の最重点としていただくようお願いいたします。

また、どのように定義するにせよ、「平和」がロータリーにとって究極の、そして実現可能な目標であることをご理解ください。平和は、協定や、政府や、大胆な闘争だけで達成するものではなく、日常の簡単な方法の積み重ねによって成し遂げるものであります。

ガバナーとしての一年間、「奉仕を通じて平和を」の精神をもって、ロータリーの究極の目標である平和な世界に向けて邁進していただくようお願い申し上げます。

(会報担当者：弗田 和則 委員)

小笠原商事(店舗賃貸)

代表 小笠原 孝

〒042-0941 函館市深堀町30-32-1

TEL(0138) 33-0116 FAX(0138) 33-0118

(広告掲載：小笠原 孝 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

【3月19日現在のアクセス数：12736件 (+33件)】

◎2月22日出席報告(中川 洲平 委員長)

会 員	24名	出席率対象会員	24名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	0名
当日出席	16名	当日欠席	8名
他クラブ出席	6名	出席合計	22名
出席率		91.67%	

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・3月28日
プログラム

「CLPについて」

CLP実施特別委員会 松見 修二 委員長

3月14日の記録

◎司 会 藤田 正男 会長

◎齊 唱 手に手つないで、四つのテスト

◎ゲ ス ト 元会員 村井 茂 氏

◎ビジター 函館R.C.勝木 俊彰君

◎会長報告 藤田 正男 会長

○ポール・ハリス・フェローの感謝状とピンが渡部会員と私に届きましたのでお渡しいたします。

○理事会報告

- 地区協議会出席旅費について
クラブ負担とし、函館東RCとバスで行くことを検討する。
- 七飯RC合同例会
七飯RCのホストで大沼プリンスホテルにて開催の予定。
(4月24日(火))
- 2月末収支決算報告について
了承されました。

○先日推薦のあった齊藤さんに対して異議がありませんでしたので入会手続きに入ります。

◎幹事報告 増山 正 副幹事

- 千葉港RCより会報が届きましたので回覧いたします。
- 3月29日(木)函館RC、30日(金)函館五稜郭RCと共に自主休会に変更です。
- 3月21日の例会は早朝例会7:00になります。

◎親睦活動委員会 山下 清司 委員

ニコニコBOX投入報告

ゲスト 村井 茂 様……お久しぶりです。ニコニコBOXに協力します。

藤田会長・森 会員・柴崎会員・増田会員・松見会員

……鶴喰さん会長エレクトセミナーごくろうさまでした。

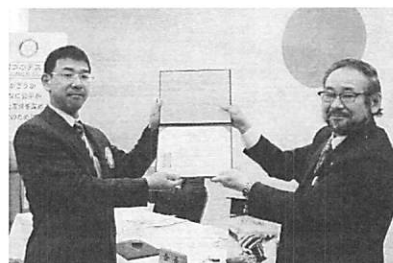
中川会員……本日からの棒デパートの“うまいものめぐり”盛況でありますように。

小笠原会員……ニコニコBOXに協力。

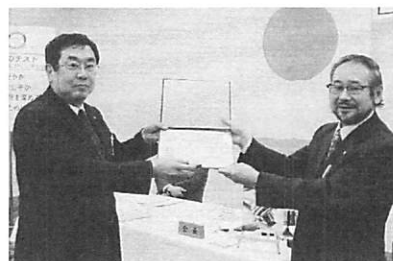
◎村井 茂 氏

- 台中市 三協テニスクラブと、函館歯科医師テニス同好会との交流事業について
- 函館でただひとつのプラネタリウム館についての意味と、私の努力について

◎会長エレクトセミナー報告 鶴喰 理三 会長エレクト



渡部 二康 会員



藤田 正男 会長

奉仕を通じて平和を

田中作次RI会長エレクト

長年、ロータリーは、私にとって人生の中心となってまいりましたが、1975年にロータリーへ入会した当初、それから私の人生がまったく違った方向に向かっていくとは、思ってもみませんでした。

ロータリーに入るまで、私の人生観はとても狭いものでした。貧しい家の8人兄弟の4番目として生まれた私を取り巻く人たちは、ほとんどが貧しい境遇にいました。週に一度、母と私は、市場まで20キロの道を、歩いて野菜を売りに行ったものです。日本人以外の方々とは、一度もお会いしたことがなく、あの村が私の全世界でした。

ですから、私はいつも、旅することを夢に見ておりました。遠くの町や国を夢見ながら、どんな所なのだ

ろうと想像したものです。

それ以来、幸いにも、頻繁に旅をする機会があり、自分で思いもよらないほど、世界のあちこちを見ることができました。しかし、ロータリーでの経験ほど私の視野を広げてくれたものはありません。

ロータリアンになるまで、私の目に入っていたものと言えば、仕事、家族、顧客、競争相手など、身近なものばかりでした。旅に出ても、お決まりのものしか見ていませんでした。

その背景にあるもの、自分と関わりがないと思うものには、気にも留めていませんでした。

しかし、私はある日、推薦を受けて八潮ロータリー・クラブに入会しました。それから2年後、ある方が例会に来て、職業奉仕についてお話をしてくださったのです。私は、その日から少しずつ変わっていきました。収入や、売り上げを増やすことや、自分の会社をほかの会社よりも良くすることだけでなく、人として、職業人として、もっとよい、もっと高い目的を持って人生を送りたいと思うようになったのです。そしてそのために、ほかの人たちの役に立つことが、私にとって人生で最も大切だと思うようになりました。

さらに私は、どんな些細なことでも、人を助けることがいずれば平和につながることに気づきました。

「平和」というのはよく耳にする言葉です。ニュースでも、日常会話でも良く聞きますし、ロータリーでも頻繁に口にする言葉ですが、私たちは、「平和」とは何なのか、どういうことなのかを、あまり考えることはありません。

一番簡単なのは、「平和」ではない状態がどのようなものを語ることでしょう。つまり、戦争や暴力や恐れることのない状態のことです。飢餓や、弾圧や、貧困を恐れることのない状態です。

また逆に、「平和」を、それが何であるか、どういう可能性を秘めているのかで定義することもできます。そういう意味では「平和」は、発言と選択の自由であり、自己決定の権利であると定義できます。安全で安心できる未来を意味し、安定した社会での人生と家庭を意味するとも言えます。

そしてもっと抽象的に言うと、「平和」とは幸福感や心の平穩、静けさであるとも言えます。

ですから、「平和」が何を意味しているのかは、人によって違うのです。どの定義が正しいとか、間違っているとかということではなく、自分にとって「平和」が意味すること、それがまさに平和なのです。

どのような意味でこの言葉を使うにしても、ロータリーでそれを実現することができます。

ロータリーは、保健、衛生、食糧、教育などの人々の基本的なニーズに、最も必要とされている地域で応えることができます。

そして、友情、つながり、思いやりといった、私たちの心のニーズにも応えることができます。

さらに、国や民俗間の友情と寛容を推進することで、ロータリーは、最も伝統的な意味での「平和」を、つまり、互いを理解し合う後押しをしてくれるのです。

ロータリーの奉仕を通じて、私たちは、大きな問題のように見えることでも、力を合わせれば、すぐに解決できることを学びます。人を思いやることを学びます。自分と違った境遇の人々と知り合うことで、人はみな同じであると理解できます。

ロータリーの奉仕を通じて、私たちは、何かを達成しようとするなら、対立より協力を選ぶのが得策であることを知ります。ほかの人の長所と短所、両方を尊重することを理解します。そして、どんな人からも必ず得るものがあり、教えられるものがあることを学びます。

私は、「超我の奉仕」は単なる標語ではないと考えております。それは、誰の人生をも、さらに豊かで、有意義なものにする、生き方を示していると思います。

ロータリアンは、自分よりも、ほかの人のニーズを重視します。自分のためだけではなく、社会全体のためを考えます。「超我の奉仕」という言葉は、人生で本当に大切なこと、エネルギーを注ぐべきことは何なのかを、私たちに教えてくれる言葉です。そうすることで、より平和な世界の基盤を築くことができると考えます。

そこで私は、2012-13年度のロータリーのテーマを、「奉仕を通じて平和を」といたしました。

私は、「奉仕を通じて平和を」という概念に、難しい哲学はないと思っています。私は、哲学者ではありません。一介のビジネスマンです。ただ、ビジネスマンとしての長年の経験から、私は、事業を成功させるには、顧客の満足を追求する以外にないという結論に達しました。顧客に喜んでもらえれば、事業も成長します。そうすれば私自身も幸せになれる。しかし、それは事業が成功しているからだけではなく、人を幸せにしてあげることができたという認識があるからです。

事業においても、人生においても、目標を達成したいなら、まず方向性を定めなければなりません。ロータリーは、R I 戦略計画の目標と優先項目を、組織全体のロードマップとする決断を下しました。

2012-13年度には、地区内のクラブにおいて「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」、「公共イメージと認知度の向上」という、R I 戦略計画の3つの優先項目に、一層の力を注いでいただくよう、皆さまにお願いしたいと思います。

ロータリーのビジネスは、利益の追求ではなく、平和の追求です。ですから私たちにとって、報酬はお金